

65億7,800万円 令和8年度 能勢町一般会計予算を可決

予算常任委員会報告

予算常任委員会に付託された「令和8年度能勢町一般会計予算」について、3月11日、12日、16日、17日に委員会を開催し予算内容を審議しました。審議の後、賛成多数で可決すべきものと決定しました。(賛否の結果は6ページ参照) 主な質疑応答は次のとおりです。

◇令和8年度能勢町一般会計予算

総務部(総務課・理財課・住民課)、出納室、議会事務局

問 移住支援事業として新たに配置する移住コーディネーターについて問う。

答 移住に関する相談は年間50件程度あるが、結果につながっていない。空家所有者と移住希望者の支援のため、今後公募を行い移住コーディネーターを配置し、支援や各種セミナーの開催、移住定住フェア等への参画に取り組む。

問 町政施行70周年記念事業の式典や関連事業について問う。

答 10月下旬に式典を予定している。第一部では表彰関係を中心とした内容、第二部では70周年宣言や舞台発表、作品展示を考えている。詳細については、各部から1名選出して立ち上げた実施委員会で決定していく。10年に一度の節目となるため、何か光るものがあるイベントにしていきたい。

問 駐在所へのAED設置について問う。

答 24時間365日利用できるAEDを、町内6カ所の駐在所に設置する方向で、警察と協議中である。区長会、広報、ホームページで周知する。使用に当たってはAEDの研修を実施し、普及に努める。

問 地域公共交通計画の見直しと、乗合タクシーの現状と今後の取組みを問う。

答 地域公共交通会議を4回程度開催し、新たな公共交通計画を策定する。乗合タクシーの1日当たりの利用者数は令和6年度は平均10.01人、令和7年度は13.53人。いきいき100歳体操会場での制度の紹介や、のせけん発表会場で乗合タクシー券の配布をして周知に努めている。また、新しい公共交通ガイドブックを配布する予定である。

福祉部(福祉課・健康づくり課)

問 障がい者自立支援事業の予算増額の要因や、補装具支援・住宅改修支援の位置づけを問う。

答 増額は居宅介護や就労支援の利用増が主因であり、補装具費も含まれる。住宅改修支援は地域生活支援事業の補助対象として実施している。案内は、次回更新時にわかりやすく掲載したい。

問 放課後児童クラブにおけるICT支援システムの導入内容、定員運用、さらに土日開設の課題について問う。

答 ICT支援システムは入退室管理や連絡帳機能に加え、一時利用申込のオンライン化も検討中。定員は70名を基本としつつ、出席率を踏まえ柔軟に運用する。土日開設は人員確保が課題であり、現状は長期休み中の土曜日開設にとどまるが、今後の検討課題としている。

問 がん患者のアピアランスケア助成について問う。

答 近隣自治体の実施状況を参考に助成上限2万円 で償還払いとする。内容はウィッグ・補整下着・乳房補整具それぞれ1回ずつとする。ウィッグは安価な物から15万円程度まで幅があり、十分かは課題だが、利用者の声を踏まえ考えていく。また、保健センターの個別相談室を活用するなどプライバシーに配慮していきたい。

問 集団検診における骨粗しょう症検診の実施内容、今後の対応を問う。

答 転倒・骨折が要介護の主因の一つであるため予防目的で導入し、40歳以上女性を対象に年4日実施、自己負担600円で約400人の受診を見込む。今後は受診状況を見て拡充を検討し、結果に応じて医療受診の助言や生活改善指導を行いたいと考えている。